

下総小学校・下総中学校の 一貫教育について



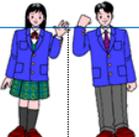
成田市教育委員会

はじめに

平成26年4月に下総小学校(下総4小学校統合校)が開校します。下総小学校と下総中学校は同一敷地内にあることから、地域の理解を得て、小中連携教育を一層進めた小中一貫教育を展開します。小中一貫教育とは、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう、連続した学びを実現する教育です。

下総小学校、下総中学校では以下の3点を基本方針として、教育活動を展開します。

- 1 連続した学びを実現するため、小学校中学校の垣根をなくし、小中学校の教職員の相互理解を深め、既存の枠にとられない弾力的な教育計画を編成します。
- 2 連続した学びの中で、着実に学力を身につけさせるため、9年間を子どもの発達段階に応じた区分に分け、それぞれの段階に応じた効果的、効率的な指導を追求していきます。
- 3 連続した学びの中で、地域と共に子どもを育てるという思いを共有し合いながら、豊かな人間性を育みます。

前期【基礎充実期】				中期【活用期】			後期【発展期】	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
<学級担任制> ○繰り返し指導や補充指導等により習熟を図ることを重視し、学習規律や基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります。				<一部教科担任制・教科担任制> ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これまでの学習や生活で身に付けたことを活用することを重視し、論理的思考力の育成を図ります。 ○5・6年から一部教科担任制で授業を実施し、中学校の学習へのスムーズな移行を図ります。			<教科担任制> ○自分の生き方を考えた、これまで身に付けたことを発展させたりすることを重視し、自ら課題を見つけて解決する力の育成を図ります。	
学校教育活動の様々な場面で、すべての先生がすべての児童生徒に関わり、連続した学びを実現します。								
								

小中学校が共通の目標を掲げて、教育に取り組みます

生徒指導や学習指導の基盤となる「学校教育目標」を共通化し、様々な取組に対して一貫した指導・支援体制をつくります。

1. 継続的な指導を行います

- ・「学校生活のきまり」や「学習のきまり」の基本となることを共通化し、全職員が小学校と中学校の垣根を越えて子どもの指導を行います。
- ・小中学校の全職員が子ども一人一人の個性や能力・適性などの情報の共有に努め、継続的な指導を行います。

2. 滑らかな接続を図ります

- ・小学校高学年から、一部教科担任制を導入します。
- ・小学校から中学校への接続期を重視し、小中学校の教職員の相互交流をすすめ、協力して授業を行います。

3. 児童生徒の交流を進めます

- ・様々な行事や、部活動などにおいて児童生徒の交流を行い、健全な人間関係を育てます。

4. 教職員が一体となって一貫教育を進めます

- ・小中学校の校長を一人、職員室は一つとし、一貫した教育方針のもと教育活動を進めます。

5. 学校と家庭・地域が連携して子どもの育ちを見守る体制作りを進めます

- ・学校と家庭・地域の連携により、子どもたちの育ちを継続して見守る体制をつくり、安心して様々な活動に取り組める環境をつくります。

確認内容及び検討内容

平成23年8月より下総地区小中連携推進委員会において、小中一貫教育に関わる内容について検討してきました。これまでに確認した内容、今後検討する内容については以下のとおりです。

1 これまでに確認した内容

- (1) 学校の正式名称は「成田市立下総小学校」「成田市立下総中学校」となります。
- (2) 通学については、小学生は徒歩またはスクールバス。中学生は徒歩または自転車となります。
- (3) 統合校の校章については地域の皆様から意見をいただき、推進委員会で協議の上、決定しました。
- (4) 制服、その他の学用品については中学校期より指定します。
- (5) 体操服は1年入学時から中学校卒業時まで同じものを使用します。
- (6) 平成25年度から統合を見据え小中学校が同じ日課時程で学校生活を送っています。
- (7) PTA組織は小中合同の一つの組織になります。



2 今後、検討を必要とする主な内容

- (1) 下総小学校、下総中学校の総称については、児童生徒、地域の皆様より応募いただいた作品から検討しています。
- (2) スクールバスの運行ルート及びバス停については保護者や地域の皆様の要望をふまえた上で、決定します。
- (3) 校歌については、開校後制作します。